

# 言の葉

～和歌山県言語聴覚士会 機関紙～

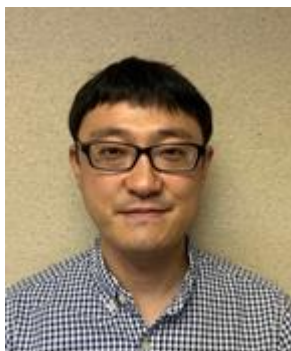
第22号

2022年8月

挨拶	1	施設紹介	12
総会報告	2	STって楽しい!?	13
各局理事・事業活動抱負	3	年会費納入のお知らせ	13
活動報告	7	新入・異動・退会等会員情報	14
新入会員挨拶	8	理事会議事録要約	15
本紹介	11	編集後記	19

## 会長挨拶

会長 紀南病院 古久保 良



今年度から会長職をさせていただきます。古久保良と申します。私は現在、紀南地方の病院に勤めております。和歌山の紀南といえば梅が有名かと思えます。この原稿を書いている7月には梅の最盛期は過ぎつつありますが、まだまだ忙しい時期ではあり、近所の農家さんは休みなく朝から梅畑へ通っています。今年の夏は6月に梅雨明け宣言が出て、猛暑が続いています。ニュースレターが届くころにも連日猛暑更新となっているのではないのでしょうか。

さて今年は、2年任期の理事選挙がありました。そして6月28日に総会を行い、新理事主動のもと和歌山県言語聴覚士会も新体制となりました。以前から言われていますように、国からの要請が協会を通じて増えてきています。超高齢社会に突入し、年金制度や介護事業制度、さらに病院事業など変革、進化を問われるようになってきました。当然、県士会も同じで仕事内容が多様化してきています。和歌山県士会事業も理事をはじめ会員の皆様のお力で運営することができています。以前も書きましたが、和歌山県のSTはPT、OTなどの他職種と比べると人数はどうしても少ないです。そのため会員の皆様には、STとしての新たな仕事もお願いしなければなりません。勤務している中でSTに何ができるかということに加え、超高齢社会の中でSTに何ができるかということを問われてきています。会員の皆様一人一人が一生懸命努力し、切磋琢磨していると思います。それに加え、一つだけでも良いので県士会の活動も一緒にできればと思っています。皆様よろしくお祈りします。

# 総会報告

## 事務局理事 和歌山ろうさい病院 岩本 吉城

令和4年6月28日（火）Zoom使用によるWeb会議にて一般社団法人 和歌山県言語聴覚士会 令和4年度定時社員総会が開催された。昨年度同様、今年度も定時社員総会は新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の懸念から会員の参加を自粛していただき、役員のみでの総会開催に手法変更し、会員からは書面による委任状・議決権行使書、質問にて意向が反映できる方法で行われた。

19:00～令和4年度定時社員総会が開催された。司会の岩本吉城理事により開会宣言があり、続いて山崎良一会長より挨拶が行われた。次に定足数報告があり、令和4年度議決権のある正会員161名、そのうち会場（Web）出席者12名、委任出席者38名、議決権行使書提出者44名、合計94名で総会は適法に成立した旨が宣言された。議長に天野哲弥理事が選出され、書記に岩本吉城理事が任命され、総会が進行した。第1号議案 令和3年度事業報告に関する件は、岩本吉城理事より報告があり、全会一致により承認された。第2号議案 令和3年度決算報告に関する件は、中武夕真理事より報告がなされた後、西本千津監事より「令和4年4月15日に監査を行った結果、会計は適正に処理しているものと認める」と報告があり、全会一致で承認された。第3号議案 令和4年度事業計画案に関する件は、岩本吉城理事より説明があり、全会一致により承認された。第4号議案 令和4年度予算案に関する件は、中武夕真理事より説明がなされ、全会一致で承認された。第5号議案 役員承認に関する件は、岩本吉城理事より説明がなされ、全会一致で承認された。第6号議案 その他に関する件は、岩本吉城理事より説明がなされ、全会一致により承認された。

20:00 議長は本日の議事が終了した旨を述べ、閉会を宣言した。



## 各局理事・事業活動抱負

### 副会長 訪問看護ステーション中紀 天野 哲弥



今期も副会長を務めさせていただきます。今年もコロナウイルス感染防止のため、総会は理事のみのオンライン開催となりました。本来であればこの総会で山崎前会長の謝恩と古久保新会長の就任を会員の皆さまと一緒に祝いしたかったのですが、残念でなりません。今も第7派が蔓延し行事の開催は不透明ですが、県土会20周年記念講演などいつか盛大に執り行いたいと思っています。また今年度の協会連動活動に小児医療療育や特別支援教育など小児領域での活動が予定されていますので、療育施設や教育機関にお勤めの会員の方々にご協力を頂ければと存じます。世代交代の折、特に若手の会員の皆様へは協会と県土会の活動への参加とご協力をよろしくお願いいたします。

### 副会長 和歌山ろうさい病院 岩本 吉城



社会局、事務局を経験させていただき、令和4年度より副会長を拝命することになりました和歌山ろうさい病院の岩本吉城です。

活動抱負としまして、本年度より新しく着任された古久保新会長を補佐し、未だ収束が見えないコロナ禍が続く現在ですが、一般社団法人 和歌山県言語聴覚士会が県民の皆様が安心して生活できる街づくりに少しでも寄与できる組織となるよう尽力したいと考えています。そして会員の皆様のご経験やお知恵を伺いながらすべての事業活動が円滑に、そして活発に遂行できますよう各局理事と協力しながら邁進していきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 事務局理事 琴の浦リハビリテーションセンター 山本 駿平



今年度より事務局を担当することになりました琴の浦リハビリテーションセンターの山本と申します。令和4年度定時社員総会は新型コロナウイルス(COVID-19)感染対策としてWeb総会にて役員のみで開催させていただきました。会員のみなさまのご協力の下無事に終了することができ、感謝申し上げます。本年度の各局事業につきましても新型コロナウイルス感染の動向を見ながら、事務局として全力でサポートしていきます。会員のみなさまの安全を考慮し、安心して業務への取り組みや活動への参加ができるよう環境を整えていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



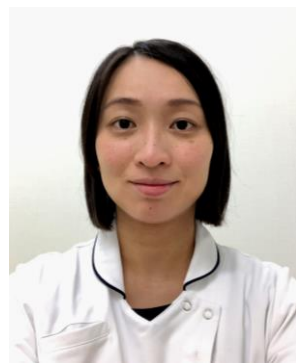
### 学術局理事 中谷病院 青木 健太

今期も理事・学術局を務めさせていただきます、医療法人裕紫会中谷病院の青木健太と申します。前年度に第0.5回和歌山県言語聴覚士会学術集会を開催させていただき、皆様のおかげで無事大盛況にて終えることができました。現在、コロナウイルスが第7波に突入し、まだまだ気が抜けない日々が続いておりますので、今年もオンラインにて、症例検討会と3月に第一回学術集会を開催予定です。随時、メールやホームページにて配信を行っていきます。たくさんの先生方のご参加をお待ちしております。



### 社会局理事 公立那賀病院 静 智弘

理事・社会局を務めさせていただきます公立那賀病院の静です。社会局の主な仕事は大きく二つあります。一つ目は毎年秋に開催される和歌山県病院協会学術大会でのセッション運営です。今年度は念願のSTだけのセッションができそうです。ぜひ、生の発表、質疑応答を体感していただきたいと思います。開催日は11月6日(日)、場所はアバローム紀の国です。積極的な参加をお待ちしております。二つ目は、ST啓発目的でのブース出展を各イベントで行っております。毎年11月に開催される「ふれあい人権フェスタ」では、失語症友の会 紀の国会と隣接するブースで、PT・OT会と共同で参加者体験型スタンプラリーを行っております。昨年はSTのみの参加でしたが、今年は十分な感染対策をとった上での3士会共同の開催になりそうです。開催日は11月19日(土)、場所はビッグホエールです。こちらも、参加をお待ちしております。またこのようなイベントに参加・参画したい会員、各地区でST啓発ができそうなイベントがあれば、社会局までご連絡下さい。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



### 広報局理事 白浜はまゆう病院 土井 真衣

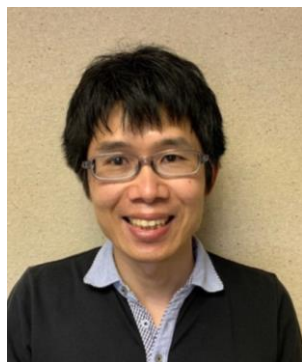
広報局理事を務めさせていただきます、白浜はまゆう病院の土井真衣と申します。いつも広報紙への寄稿にご協力いただき、ありがとうございます。広報紙をデジタル化できたことで、活動に合わせて内容を豊富にする際も柔軟に対応でき、皆さまへお届けさせていただいております。今年度もご興味を持って読んでいただけると幸いです。広報局では今年度からホームページ管理にも携わることになりました。今年中に会員専用ページの作成を進めていければと考えておりますので、運用が開始となった際には皆さまにご報告させていただきます。3期目にはなりますが、まだまだ至らない所があるかと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

### 教育局理事 南和歌山医療センター 中瀬 通子



前回に引き続き、教育局の理事をさせていただきます、南和歌山医療センターの中瀬と申します。教育局では、日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムを担当いたします。専門講座は協会主催でも開催されていますので、県土会では主に基礎講座を行う予定です。基礎講座は、基礎プログラムを修了するために受講が必要となっています。今後もオンライン開催になると思われませんが、特に新人の方はぜひご参加ください。よろしく願いいたします。

### 地域支援局理事 紀和病院 尾藤 博隆



地域支援局では和歌山県から受託している事業「失語症者向け意思疎通支援者養成研修」を行っています。研修では失語症のある人の日常生活上の外出に同行し、意思疎通を支援する知識と技術を習得することを目標としています。いよいよ今年度からは、研修を修了した支援者を派遣する事業を開始します。私たち言語聴覚士でしかできない社会貢献活動の一つであり、当局の活動にご興味のある方は尾藤までご連絡ください。ご支援ご協力よろしく願いいたします。

### 地域包括ケアシステム推進局理事 和歌山県立医科大学付属病院 前島 ちか



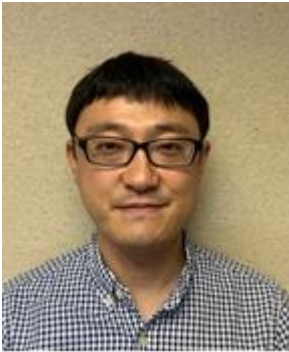
「地域包括ケアシステム」とは要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域で支え合う体制のことです。「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が一体的に提供される体制づくりを目指しています。地域包括ケアシステム推進局では、地域包括ケアシステムにおける、言語聴覚士の地域リハビリテーション活動支援事業（介護予防事業、地域ケア会議など）への参画および人材育成に努めます。

**財務局理事 愛徳医療福祉センター 中武 夕真**



今年も財務局担当理事をさせていただくことになりました、中武夕真です。年会費の管理と運用の業務を担当させて頂いています。財務局は皆さまから集めたお金を管理する重要な仕事だと思っています。地味なしごとではありますが、局員の方にも協力していただきながら、地道に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、最後にご案内になりますが、年会費の納入期限が過ぎておりますので、今年度の納入がまだの方はお早めに納入していただきますようお願いいたします。

**JRAT 紀南病院 古久保 良**



令和元年 11 月 23 日に和歌山 JRAT が正式に発足し、本格的な災害リハビリテーション事業が開始されました。しかし、コロナ禍により中断してまいりましたので、今年度の活動として、災害時の JRAT 活動を認めてもらうため和歌山県と協定を結ぶ渉外活動を行ってまいります。今年度も Web 開催を検討しておりますので、今まで以上に参加しやすい環境を整えてまいります。会員の皆様には引き続き災害リハビリテーション事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

**監事 琴の浦リハビリテーションセンター 山崎 良一**



これまで 10 年間、会長として活動してこられたのも、理事や会員の皆様に支えていただいたからだと思っております。振り返ってみると、普通では経験できないことを沢山させていただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今年度から監事として県士会活動に参加させていただきます。県士会がさらに発展できるよう、微力ではございますが尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

**監事 河西田村病院 西本 千津**



引き続き幹事を務めさせていただきます。和歌山県言語聴覚士会の運営が適正であるよう監査を行い、県士会の活動がさらに飛躍したものとなるよう尽力したいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

**監事 橋本市民病院 坂井 俊文**



昨年に引き続き監査役をさせていただくことになりました。適正な会計監査に努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 各局活動報告

**学術局 中谷病院 青木 健太**

2022年3月20日(日)に、第0.5回和歌山県言語聴覚士会学術集会をオンラインにて開催いたしました。プログラムとして、若手演題、小児分野演題、成人分野演題の合計9演題に加え、特別講演として小児分野は紀南食事塾の宮田直美先生、成人分野は公立那賀病院の静智弘先生から、長年の臨床経験をもとに講演をしていただきました。学会名の「学術集会だよ！オンラインで全員集合！」の名の通り、県士会会員の先生方をはじめ、会員外の先生や学生さんの参加もあり、参加者は計50名を超えました。発表してくださった先生方や参加者の皆様のおかげで途中大きなトラブルもなく、無事大盛況で終えることができました。

今年度は、第1回学術集会を開催予定です。また、随時メールやホームページにて、詳細をアナウンスしていきます。今後とも県士会活動にご協力の程、よろしくお願いいたします。次回の学術集会もたくさんの先生方のご参加をお待ちしております。

## 新入会員挨拶

### 南紀医療福祉センター 井潤 輝波



今年度より新人として南紀医療福祉センターに入職いたしました井潤輝波と申します。入職して数ヶ月経ち、患者様と関わらせていただく中で慣れないことや分からないことで勉強の連続ですが、患者様の為にSTとして何ができるのかを考え、より良いリハビリテーションを提供するためにこれからも精進していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

### 貴志川リハビリテーション病院 木上 佳穂



今年度より、言語聴覚士として貴志川リハビリテーション病院に入職いたしました木上佳穂と申します。毎日患者様から学ばせていただくことが多く、日々奮闘しています。1人の患者様に対し、様々な他職種の方と連携をとることの必要性を感じております。至らない点が多くご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

### 和歌山つくし医療福祉センター 竹内 ゆきの



この度和歌山つくし医療・福祉センターに入職しました、竹内ゆきのと申します。入職して数カ月が経ち、利用者様のために自分に何ができるだろうと日々考え悩むことも多いですが、今後も先輩方のやり方や論文などからヒントを頂き自分の中の引き出しをたくさん作り、利用者様一人ひとりに合わせた方法で訓練できる言語聴覚士を目指し、精進していきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



### 角谷リハビリテーション病院 木地 郁恵



今年度より角谷リハビリテーション病院に入職致しました木地郁恵と申します。自分の足りなさを実感する毎日ですが、先輩方にご指導、アドバイスをいただきながら臨床に励んでいます。

広い視野で多くの選択肢を考え、それらをリハビリテーションに反映できる ST を目指し、様々な疑問に真摯に向き合っていく所存です。今後ともご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

### 角谷リハビリテーション病院 野口 実咲



今年度より角谷リハビリテーション病院に入職いたしました野口実咲と申します。入職して 4 ヶ月が経ち新しい環境で慣れないことの連続です。担当の患者さまを持たせていただく中で、自分自身の未熟さを実感する日々です。しかしそれと同時により一層言語聴覚士として成長していきたい気持ちが大きく、これからも知識や技術の向上に励みたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

### 角谷リハビリテーション病院 小嶋 香凛



この度、角谷リハビリテーション病院に入職致しました小嶋香凛と申します。実際に患者様に関わり大きな責任を感じると共に十分なリハビリができているのか悩む日々ですが、先輩方から学ばせて頂きながら日々奮闘しております。知識や経験を沢山積み重ね、患者様に寄り添い笑顔で退院していただけるように私自身も日々勉強に励みます。至らない点ばかりですがご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

名手病院 田代 友紀



STとして働き始めて13年になります。名手病院は病棟でのリハビリ（回復期・地域包括ケア・障害者）、外来リハビリ、訪問リハビリがありますが、私は主に障害者病棟で嚥下リハ、呼吸リハを中心に実施しています。県士会に参加させてもらい、色々な勉強や情報交換ができればと思っています。よろしくお願いします。

今村病院 鈴木 達也



この度4月から今村病院に入職しました鈴木達也と申します。入職して数ヶ月たち、実際に患者様と関わっていく中で分からないことがたくさんあり悩むことが多いですが、少しずつ知識や経験を積み重ねていき患者様に寄り添える言語聴覚士になりたいと思っています。まだまだ、未熟で知識不足な部分もありますが今後ともよろしくお願いいたします。

※2022/6/30時点で県士会へ入会されている先生方にコメントをいただきました。

新入会員の皆さまご入会して頂き  
ありがとうございます！！  
私達と一緒に和歌山県言語聴覚士協会  
を盛り上げていきましょうバ(´ω`\*)



## 本 紹 介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった」「参考になった」など感じた本をご紹介いただいています。

濟生会有田病院 竹内 萌

題 名：「潜水服は蝶の夢を見る」

著 者：ジャン＝ドミニック・ポビー

訳・河野万里子

出版社：講談社

こちらの本は、脳梗塞を発症し閉じ込め症候群となり左目の瞬き以外のすべての動きを失った 43 歳の著者が、言語聴覚士や編集者らと協力しながら 20 万回以上の瞬きを繰り返し綴られた自伝エッセイ集です。

著者は作品の中で言語聴覚士のことを『守護天使』と呼び、「言語療法は、もっと広く知られるべきものだと思う。舌というものが、ことばの持つあらゆる音を出すために、いかにさまざまな運動を無意識に行っているか、まったく驚かされるばかりだ。」と語っています。

言語聴覚士の取り組みが、著者の原動力となりそれが一つの作品につながったと思うと、言語聴覚士という仕事の可能性と素晴らしさを改めて感じることができました。読んだ人の胸に熱い想いがこみあげてくるような作品ですので、興味のある方はぜひ読んでみてください。

\* 次回は濟生会有田病院 木下初音先生にお願いしています。



## 施設紹介

### <那智勝浦町立温泉病院>



当院は和歌山市から車で約3時間、温泉とまぐろで有名な那智勝浦町にある病院です。5年前に病院が新しく移転しST室は広々と設けて頂いております。窓からは熊野の山並みや海が綺麗に見えて、毎日気持ちよく仕事させて頂いております。当院の病床数は120床であり、内科、外科、リハビリテーション科を主体とし、理学療法士14名、作業療法士7名、言語聴覚士2名在籍しております。地域柄高齢者の患者様が多く、急性期から回復期、維持期まで幅広くリハビリを行なっています。昨今では、兵庫県や大阪府など遠方からはるばるリハビリ目的で入院される患者様も多くなっております。当院にはリハビリテーション科医師が常勤で3名在籍しております。毎週治療検討会や画像カンファレンス、症例検討会などが行なわれ常にリハ医に指導して頂ける環境にあります。STはその他にも嚥下ラウンドを実施し、実際に食べる様子をリハ医に診てもらいながら多職種で協議する機会を設けています。ST2名ですが今後も地域に根ざしたリハビリを提供していけるよう、日々努力していきたいと考えております。

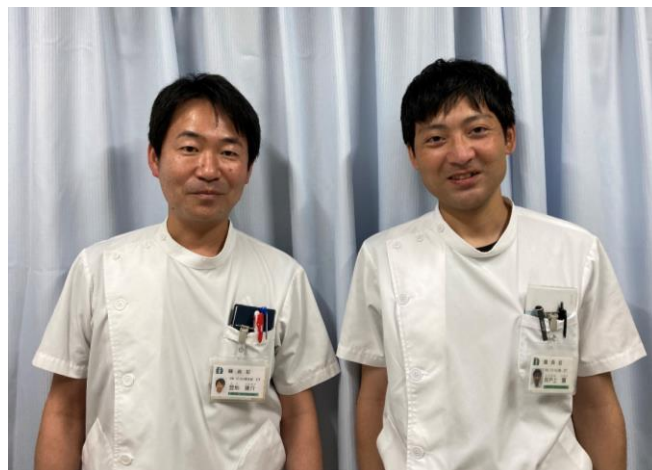
### <野上厚生病院>

本病院の診療圏内は和歌山県北西部に位置しており、海南市、紀美野町の1市1町で構成された一部事務組合によって運営されています。北は和歌山市、紀の川市、南には「ながみね山脈」が東西に走り有田郡に、東は伊都郡、高野山にそれぞれ隣接し、西は紀伊水道をはさんで徳島県と向かい合っています。また気候は温暖で冬でも降雪はほとんどなく、緑豊かな地域です。

全国的に高齢化が進むなか、特に本病院の診療圏である紀美野町は高齢化率48.6%と全国自治体平均の28.6%を大きく上回っています。皆さんご存じのように、誤嚥性肺炎での死亡は全体の5.7%で死因の第5位。特に高齢者に多くみられます。

おのずと本病院でも誤嚥性肺炎の患者が多く、摂食機能療法が業務の大半を占めています。次から次へ入院してくる患者に追われている日々です。

現在言語聴覚士は2名。今年1月までは孤軍奮闘していましたが二人体制となり、より多くの時間を患者にかけられることが出来るようになってきています。また今年5月からは嚥下外来を立ち上げ、地域での誤嚥性肺炎の予防にも力を入れていくことになりました。今後は訪問リハビリへも職域を広げ、より地域に根差した言語聴覚士を目指していきたいと考えています。



## STの仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『STの仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

海南医療センター 伊藤 僚祐

私が海南医療センターに入職し、早6年が経過し現在7年目となりました。私が入職するまで当院に言語聴覚士が在籍していませんでした。

入職1年目、右も左も分からなかった私を今日の自分に至るまで、本当に多くの先生方に、患者様への接し方といった基本的なことや、評価の仕方、リハビリの仕方等を教えて頂きました。現在当院ではVF、VE等のSTとしての仕事の他に、摂食嚥下のラウンド、NSTラウンド等も参加させて頂いております。

私がSTの仕事についてやりがいを感じ、楽しいと思う場面は2つあり、1つはリハビリの担当者様だけでなく、服薬が可能か、入院開始時や入院中の患者様の嚥下機能の評価をDrやNsの方々から連絡を頂いたときです。広く嚥下機能の専門職として認知されることで、一人でも多くの患者様の背中を押せることにやりがいを感じ、STの仕事が楽しいと感じます。もう1つは、他病院と症例発表やご相談をするときです。PTやOTと比較し、STはまだ歴史が浅く、訓練内容や研究が少ない現状です。その中で、他病院と症例発表やご相談をさせて頂き、疾患や症状への深い理解、各症状に対しての訓練の有効性、自身では気づかなかったことを理解することが歴史の浅いSTならではの楽しさと感じています。

## 年会費納入のお知らせ

財務局 愛徳医療福祉センター 中武 夕真

### 【2023年度 年会費納入先変更について】

いつも当会へ格別のご理解いただきありがとうございます。来年度以降の年会費納入先変更についてお知らせ致します。

今までは「ゆうちょ銀行」へ納入をお願いしておりましたが、今年度より「口座契約費」が必要になってしまいました。そのため、2023年度より年会費の納入先を下記口座へ変更する予定にしておりますので、ご確認をお願いいたします。

PayPay 銀行  
普通  
店番 005 ビジネス営業部  
口座番号 3611320

## 新入・異動・退会等会員情報

(令和4年6月現在)

### <新入>

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 151 楠本 麻奈 (南紀医療福祉センター)      | 152 田代 友紀 (名手病院)          |
| 153 木地 郁恵 (角谷リハビリテーション病院)   | 154 井濶 輝波 (南紀医療福祉センター)    |
| 155 竹内 ゆきの (和歌山つくし医療福祉センター) | 156 鈴木 達也 (今村病院)          |
| 157 野口 実咲 (角谷リハビリテーション病院)   | 158 小嶋 香凜 (角谷リハビリテーション病院) |
| 159 木上 佳穂 (貴志川リハビリテーション病院)  |                           |

### <再入会>

- 24 玉置 朋子 (自宅会員)

### <異動>

- 55 梅本 真理子 (公立那賀病院 → 自宅)  
198 小田 恵 (白浜はまゆう病院 → 介護老人保健施設 自彊館)  
221 井戸上 翼 (南紀医療福祉センター → 国保野上厚生総合病院)  
290 田中 裕也 (つながり訪問看護ステーション → 株式会社システム環境研究所)

### <退会>

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 16 吉村 貴子 (京都先端科学大学)       | 80 小山 久美 (自宅)            |
| 97 山内 志帆 (自宅)             | 118 直川 ひとみ (国保ひだか病院)     |
| 127 水田 達也 (桜ヶ丘病院)         | 158 有田 佳代 (自宅)           |
| 167 宮田 朋美 (自宅)            | 177 宮田 明 (国保ひだか病院)       |
| 223 田村 霞 (角谷リハビリテーション病院)  | 273 濱田 莉奈 (和歌浦中央病院)      |
| 281 木下 香織 (和歌山県立医科大学附属病院) | 291 萱野 由布子 (紀和病院)        |
| 294 榎本 沙千子 (堀口記念病院)       | 297 谷口 智香 (和歌山つくし医療センター) |
| 301 森 麻紀子 (北出病院)          | 310 上地 友里佳 (介護保険施設ルピナス)  |
| 311 小川 千恵美 (河西田村病院)       | 314 木下 初音 (済生会有田病院)      |
- 23 (賛助) 瀬藤 弘恵 (介護老人保健施設みさき)

### 現在の会員数

正会員： 162名                      学生会員： 0名                      賛助会員： 1名1団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。

郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局：琴の浦リハビリテーションセンター 言語療法室内

TEL：073-481-4522

FAX：073-444-9792

Mail:wakayama\_st\_jimu@yahoo.co.jp

# 議事録要約

## 令和3年度第5回理事会

日時 令和4年3月1日(火)電子会議

参加者：山崎 古久保 天野 岩本 静 青木 土井 中武 尾藤 中瀬

### ○山崎会長

選挙規約改定

立候補届をメールで行えるよう改定。

現 行

(立候補の届け出)

第4条 理事に立候補しようとする正会員は、所定用紙に候補者名を記し、立候補事由を添え  
文書で選管に届け出なければならない。

↓

変 更

第4条 理事に立候補しようとする正会員は、所定様式に候補者名を記し、立候補事由を添えて、選管に届  
出なければならない。

## 令和3年度第6回理事会

日時 令和4年3月17日 19:00~20:15 (Zoom リモート会議)

参加者：山崎 古久保 天野 岩本 静 青木 土井 中武 尾藤 中瀬

### ○山崎会長

和歌山県病院協会より支援金の入金連絡。

### ○天野副会長

1.旅費規程改定

第7条 (宿泊費および日当)

「リモート会議は県内とする」「3時間以上は4000円」を旅費規程と旅費申請書に追加記載。

2. 日本言語聴覚士協会主催地域リハビリテーション活動支援に関する都道府県士会担当者情報交換会

(3月6日 Zoom 会議)前島会員参加の報告

### ○古久保副会長

2月16日 JRAT 会議(Zoom)出席

## ○事務局 岩本理事

### 1.ホームページ管理業務移行について

次期理解会組織の編成に伴い、ホームページ管理業務を広報局へ移行する。

## ○社会局 静理事

第 27 回和歌山県病院協会学術大会企画運営委員会(第 1 回)出席

日時：令和 4 年 1 月 28 日(金) 15:00～16:30

場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 3 階

第 27 回和歌山県病院協会学術大会

開催日・場所：令和 4 年 11 月 6 日(日) 9:00～17:00 「ホテルアバローム紀の国」

テーマ「持続可能な医療を目指して」

## ○学術局 青木理事

1.1 月 26 日(水)、2 月 16 日(水)、3 月 9 日(金)に学術局会議を行った。

2.第 0.5 回和歌山県言語聴覚士会学術集会について

日時：3 月 20 日(日) 9 時 30 分～16 時 30 分

県士会会員：55 名、会員外：5 名、学生：2 名 合計：62 名(運営・発表者含む)

## ○広報局 土井理事

3 月にニューズレター第 42 号を発行し、ホームページへ掲載。Instagram、Facebook 更新

## ○財務局 中武理事

1.今年度年会費未納者 8 名

2.監査について

感染対策として郵送で実施。

## ○地域支援局 尾藤理事

1. 令和 3 年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

2 月 19 日(土)は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

2. 和歌山県庁障害福祉課より来年度の身体手帳等の交付時に渡す冊子「障害児者福祉のしおり」へ失語症者向け意思疎通支援者派遣事業を掲載

## 令和 4 年度第 1 回理事会

日時：令和 4 年 6 月 28 日(火)19:45～20:00(Zoom リモート会議)

参加者：古久保 天野 岩本 静 青木 中武 土井 尾藤 中瀬 山本 前島 山崎 西本

### 会長の選出

会長に古久保 良氏が選出された。



## 令和4年度第2回理事会

日時：令和2年6月28日(火)20:00～21:40(Zoom リモート会議)

参加者：古久保 天野 岩本 静 青木 中武 土井 尾藤 中瀬 山本 前島 山崎 西本

### ○古久保会長

2022年4月20日 和歌山 JRAT 会議参加 (Zoom)

### ○天野副会長

5月22日 日本言語聴覚士協会定時社員総会参加

### ○岩本副会長

理事会運営について

理事会クラウドセキュリティを更新。ファイルや情報管理の注意。理事活動実績の入力。

### ○社会局 静理事

#### 1.和歌山県病院協会

第27回学術大会 プログラム委員会開催予定

日時：8月3日(水)15:00～17:00

場所：プラザホープ

議題：演題組み合わせ、各会場の担当団体取り決め

STからは4～5題(予定)

#### 2.ふれあい人権フェスタ2022

日時：11月19日(土)10:00～16:00

場所：ビッグホエール

今回は3士会+紀の国会共同。内容は未定。

#### 3.感染予防対策を講じたうえで3士会でスタンプラリー

相談窓口、失語症のDVD放映

### ○地域包括ケア推進局 前島理事

5月21日 第13回訪問リハ・地域リーダー会議 (Zoom 会議) 参加

今年度の訪問リハ研修会は訪問リハ推進財団主催のリモート中央研修会方式で行う

### ○学術局 青木理事

2023年3月に和歌山県言語聴覚士会学術集会を開催予定

勉強会、症例検討会、学術集会についての講師費について継続審議

### ○広報局 土井理事

会員から広報紙をホームページへ掲載することで個人情報の取り扱いについて意見が寄せられた。会員専用ページの開設を今年度中を目標にすすめていく。

## ○財務局 中武理事

今年度の強制退会者 8 名。

## ○地域支援局 尾藤理事

### 1. 令和 2 年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修補習

日 時：4 月 16 日(土) 中止

5 月 21 日(土) 中止

6 月 18 日(土) 13:30-16:30

場 所：和歌山市ふれ愛センター

参加者：受講者 4 名、会員 2 名

### 2. 令和 4 年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

7 月 23 日(土)から全 9 回を予定

### 3. 2022 年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集いを会員に案内

日 時：7 月 23 日(土)10:00～12:00

場 所：Zoom ミーティング定 員：10 名

### 4. 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業

研修修了者向けに支援者登録を依頼

### 5. 令和 4 年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修

日 時：10 月 22 日(土)、10 月 23 日(日)

場 所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター(東京)

## ○教育局 中瀬理事

基礎講座開催予定

令和 4 年 10 月 9 日(日)13:00～ オンライン開催

学術局ミニ症例検討会と同時開催。

- ・臨床業務のあり方、進め方 講師 岩本副会長
- ・職種間連携論 講師 天野副会長



[編集後記]

今回も本機関紙発行に際しまして多くのご寄稿、ご協力をいただきありがとうございました。新型コロナウイルスが流行し早2年半経過しております。感染状況が日々変化する中、最近ではZoomなどのリモートシステムの活用に伴い、遠方においても会議や研修の参加が容易となっております。現地まで足を運ばなくても良いという利点から、今後新型コロナウイルスが収束してもリモートシステムを活用することで参加者がより増加することと思います。今年度も皆様の活発な活動をお待ちしております。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)

発 行：和歌山県言語聴覚士会  
会長 古久保 良

事務局：社会福祉法人  
琴の浦リハビリテーションセンター  
〒640-0014 和歌山市毛見 1451  
TEL：073-444-3141

編 集：広報局  
(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院  
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地  
TEL：0739-43-6200  
FAX：0739-43-7891